

SusHi Tech Global 成長加速プログラム（第 1 期）
資金サポート及び KPI 設定に関する説明書

令和 8 年 1 月

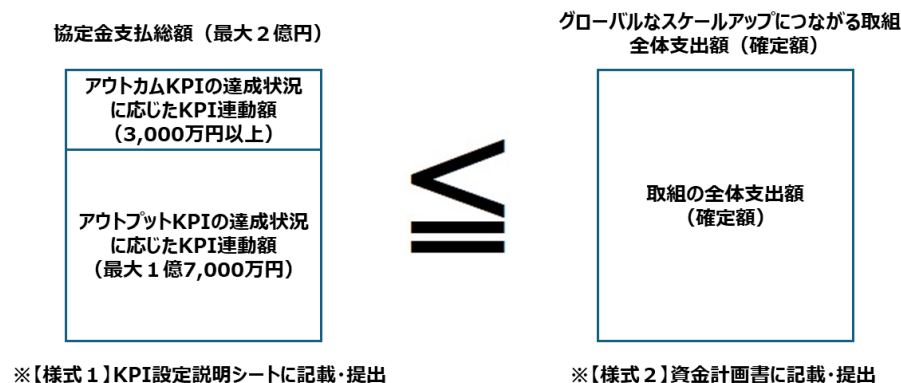
東京都

1 資金サポート（協定金）の概要

本プログラムは、2 か年（令和 8 年度・令和 9 年度）にまたがる最長 18 か月の資金サポート付き伴走支援プログラムであり、採択された取組 1 件につき、最大 2 億円の資金サポートを協定金として提供します。資金サポートに係る協定金は、事業者において設定した KPI の達成状況に応じて金額を決定し、成果創出へのインセンティブとして支払を行います。ただし、協定金は以下での説明のように、採択に係る取組に関する全体支出額によって上限が付されます。全体支出額について、東京都（以下「都」という。）において検査・確定を行い、公的事業に採択されたプロジェクトとして適正な支出・管理がなされているか監督を実施しますので、必ずこれに協力していただくことを条件に本プロジェクトに応募していただきます。

【取組の全体支出額について】

全体支出額とは、“グローバル”な“スケールアップ”につながる取組全体に要する経費（都が確定検査を行い、実績額として確定した金額（以下「確定額」という。）とする。）をいいます。この全体支出額（確定額）は、受け取る資金サポート（協定金）の支払総額を上回る必要があります。全体支出額の考え方については、別途補足資料にて案内します。



※KPI 連動額＝各 KPI 設定項目の達成状況に応じて支払う協定金の額

【協定金支払いまでの流れ】

1. 【様式 1】KPI 設定説明シート及び【様式 2】資金計画書の提出

(1) 本プログラムに応募するスタートアップは、応募時に【様式 1】KPI 設定説

明シート及び【様式 2】資金計画書を作成し、プログラムを通して達成する KPI 項目及び取組の全体支出額を記載する必要があります。なお、協定締結後、【様式 2】資金計画書は、支払期ごとに詳細化していただきます。

2. KPI 達成状況及び資金計画の執行状況の報告

- (1) 採択されたスタートアップは、【様式 1】で設定した KPI の達成状況及び【様式 2】で作成した資金計画の執行状況を、四半期に一度、事務局に提出します。提出フォーマットについては、採択されたスタートアップに別途案内します。
- (2) なお、応募時に設定した KPI は、都と協議の上、必要に応じて見直し・再設定する場合があります（単純な下方修正は原則不可）。

3. 実績報告書の提出及び検査の実施

- (1) 採択されたスタートアップは、【様式 1】で設定した KPI 及び【様式 2】で作成した資金計画の実績報告を、根拠書類（領収書等）と共に、支払期ごとに事務局に提出します。提出フォーマットについては、採択されたスタートアップに別途案内します。
- (2) 全体支出額の根拠資料や経理処理の状況等を確認し、全体支出額の金額を確定します。詳細は、プログラム採択後に別途案内します。
- (3) KPI 達成状況及び前項で確定した全体支出額を踏まえて、支払金額を決定します。KPI の数値目標を満たさない場合は、KPI 連動額に達成率を乗じた金額を支払います（1,000 円未満の端数は切り捨て）。ただし、KPI の数値目標が 100%を超えた場合であっても、各項目で設定された KPI 連動額を超える金額は支払いません。

※検査とは、当該取組の適正な執行を確保するための書面検査等をいいます。全体支出額の根拠資料など、検査に必要な書類を採択事業者が準備し、別途案内する全体支出額に係る検査の考え方を基に、全体支出額に係る根拠資料や経理処理の状況等を都が検査します。詳細は、プログラム採択後に別途案内します。

4. 協定金の支払い

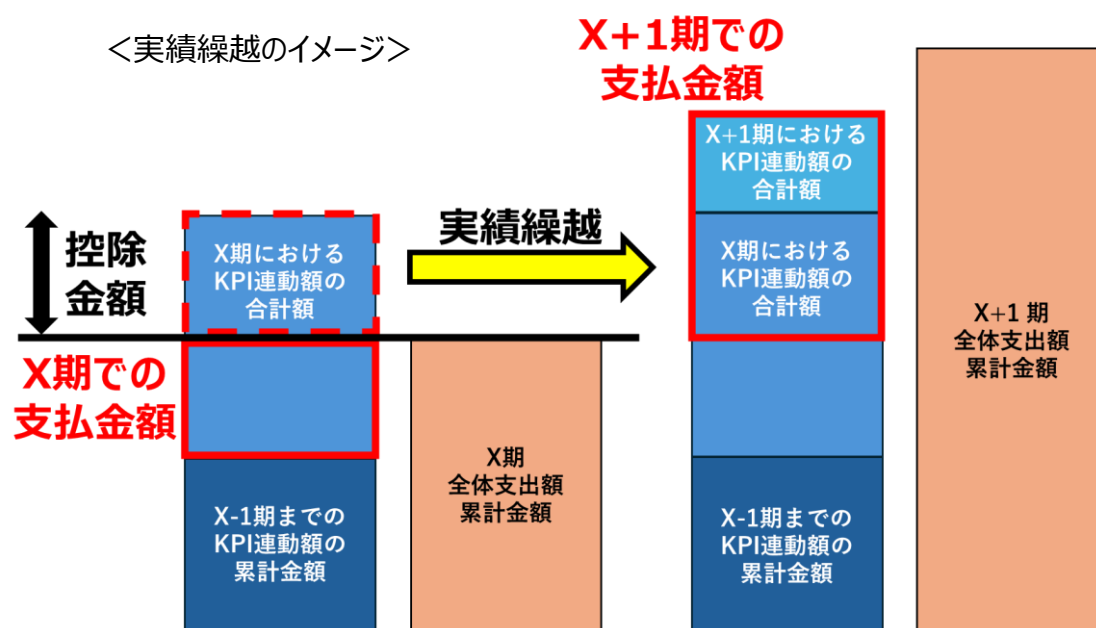
- (1) 支払期ごとに、KPI 達成状況に応じて支払い金額を決定し、採択スター

トアップが指定する口座（原則として国内の口座に限る。）に、都が協定金を振り込みます。

※プログラムに採択されたスタートアップは、原則として年度ごとに KPI の達成状況に応じて協定金を支払いますが、一定の条件を満たした場合、四半期を最短単位として必要な限度で概算払いを受けることができます。また、プログラム終了後に一括して支払を受けることもできます。詳細は、プログラム採択後に別途案内します。

※年度ごとの協定金の上限額は協定締結時に定めますが、プロジェクト進捗等に伴って KPI の達成見込みに早期達成や遅延が生じるなど、令和 8 年度に予定した協定金額を変更する必要がある場合、都の承認を受けて年度ごとの協定金の上限額を変更できる場合があります。詳細は個別の状況等に応じて判断するものとします。

(2) ある支払期において、当該期及びそれまでの KPI 連動額の累計金額（以下「KPI 連動額累計金額」という。）が当該期及びそれまでの全体支出額の確定額の累計金額（以下「全体支出額累計金額」という。）を超えるときは、KPI 連動額累計金額から全体支出額累計金額を差し引いた金額を当該期における KPI 連動額の合計額から控除した金額を、当該期における支払金額とします。なお、控除された金額は実績繰越として扱い、次回支払期以降の支払金額に反映されます。



2 達成目標・KPI 設定について

【達成目標の設定】

本プログラムは、SusHi Tech Global Startups の中から、グローバルなスケールアップにつながる取組を募り、採択した取組（最大 10 件）に対して、上限 2 億円の資金サポートとオーダーメイド型の伴走支援を提供します。本プログラムを通して、どのような成果を挙げるのか、取組のゴールを記載するとともに、マイルストーンとして、プログラム期間中の達成目標を具体的に設定してください。

なお、ここで記載するゴール・達成目標についても、採択における審査のポイントとなります。

【KPI の設定】

KPI については、グローバルなスケールアップを実現するに当たって必要な取組として、アウトカム KPI とアウトプット KPI を設定し、その達成状況を基に定量的評価を行い、協定金の金額を決定します。KPI の数値目標を満たさない場合は、KPI 連動額に達成率を乗じた金額を支払います（1,000 円未満の端数は切り捨て）。ただし、KPI の達成状況が目標の 100%を超えた場合であっても、各項目で設定された KPI 連動額を超える金額は支払いません。なお、協定金の上限額は 1 件当たり 2 億円となります。

	アウトカム	アウトプット
定義	成果	アウトカムを達成するための出力・取組
視点	どのような変化が起きたのか	どのような取組を行うのか
評価軸	達成によってどのようなインパクトがあるか 達成することによる成果が生じたか	実施したかどうか
例	海外 VC からの資金調達件数	海外 VC との商談件数

①アウトカム KPI（3,000 万円以上）

上記で設定した達成目標をアウトカム KPI として設定する必要があります。

なお、アウトカム KPI 連動額の合計金額は 3,000 万円以上、アウトカム項目数は原則として複数設定してください。

※目標値を可能な限り定量的かつ検証可能な指標でご記入ください。

アウトカム KPI 項目（例）
例）海外売上比率の向上 海外 VC からの調達 実証相手先の獲得と実証の完了 など

②アウトプット KPI（最大 1 億 7,000 万円）

アウトカム KPI を達成するに当たって必要なアクションを、アウトプット KPI として設定する必要があります。KPI 指標は下記の例を参照して設定・提案してください。

なお、アウトプット KPI 連動額の合計金額は最大 1 億 7,000 万円、アウトプット項目数は 6 項目以上、各アウトプット KPI 連動額は原則として 1,000 万円以上となるように設定してください。

※目標値を可能な限り定量的かつ検証可能な指標でご記入ください。

アウトプット KPI 項目（例）
（例）初期スタッフの採用 オフィス物件の契約締結 現地法人の登記申請 国内外の民間企業や VC・CVC、顧客候補、実証パートナー候補との商談の実施 NDA のドラフト作成 実証に伴うプロダクト製造・改良 など

③KPI 設定にあたっての留意点

- KPI 項目は都と協議の上、必要に応じて、社会潮流や市場実態、スタートアップ等の経営状況などに応じて設定を見直していく場合があります。応募時には、プログラム終了時点における達成目標を見据え、KPI 指標を【様式 1】「KPI 設定説明シート」により提案してください。
- KPI が達成されない場合は、協定金の支払金額が減額となる可能性があります。なお、協定金の上限は 1 件当たり 2 億円となります。
- 協定金の支払額は各項目で設定された KPI 連動額×KPI 達成率（算定上限

100%)の合計額から算出されることとなりますが、全体支出額（確定額）を超えて協定金を支払うことはありません。また、協定金の支払額は協定締結時点で設定した KPI 連動額の合計額を超えることはありません。